



平成 28 年 6 月 1 日

報道各位

総務大臣賞／ACC グランプリはどの作品に!?

日本最大級の広告賞「2016 56th ACC CM FESTIVAL」開催のお知らせ

～インタラクティブ部門にサブカテゴリーを新設、本日 6 月 1 日 (水) よりエントリー受付開始～

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟(略称：ACC、東京都港区、理事長：高田坦史)は、今年で 56 回目を迎える「ACC CM FESTIVAL」(2016 年開催の名称：「2016 56th ACC CM FESTIVAL」)を開催いたします。

2016 56th ACC CM FESTIVAL ホームページ：<http://www.acc-cm.or.jp/festival/2016fes/>

今年度は、フィルム部門 (A カテゴリー・テレビ CM/B カテゴリー・Online Film)、ラジオ CM 部門、マーケティング・エフェクティブネス部門、インタラクティブ部門の 4 部門にて作品を募集いたします。エントリー期間は、6 月 1 日 (水) ～7 月 1 日 (金) 18:00 まで。

インタラクティブ部門では、総務大臣賞／ACC グランプリ、ACC ゴールドなど従来の賞に加え、「Web キャンペーン」や「ブランデッド・コンテンツ」、「ニューテクノロジー」など全 14 のサブカテゴリーを新設し、各カテゴリーに特化した秀逸な作品を贈賞いたします。

また、マーケティング・エフェクティブネス部門では、テレビ CM、ラジオ CM のオンエアだけでなく、映像コンテンツやサウンドコンテンツを Web などで展開したキャンペーン施策も対象とするなど、各部門で幅広く表彰いたします。

各部門の入賞作品は、9 月 28 日 (水) 開催の理事会で承認した後、記者会見および ACC ホームページで発表します。

ACC ホームページ：<http://www.acc-cm.or.jp/>

なお、各部門の募集要項や審査委員長および審査委員など、「2016 56th ACC CM FESTIVAL」の概要は下記の通りです。

以上

本件に関するお問い合わせ

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ユニオンビル 6F

TEL : 03-3500-3261 FAX : 03-3500-3263

www.acc-cm.or.jp

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟 担当：平川美穂



《部門構成》

- ・フィルム部門 A カテゴリー (テレビ CM) / B カテゴリー (Online Film)
- ・ラジオ CM 部門
- ・マーケティング・エフェクティブネス部門
- ・インタラクティブ部門

《スケジュール概要》

◆エントリー期間

6月1日(水)～7月1日(金)まで

- ・前期料金対象期間 : 6月1日(水)～6月15日(水) 23:59まで
- ・後期料金対象期間 : 6月16日(木)～7月1日(金) 18:00まで

◆入賞作品発表

9月28日(水)に行われる記者発表の後、18:00頃 ACC ホームページにて全入賞作品リストを掲載致します。

◆贈賞式・記念パーティ

- ・日程: 11月1日(火)
- ・時間: 贈賞式 13:30～16:00 (予定)
記念パーティ 16:30～17:30 (予定)
※記念パーティは有料となります。金額: 10,000円(税込)
ご購入方法等、詳細は後日ご案内致します。

- ・会場: ANA インターコンチネンタルホテル東京 B1F 「プロミネンス」
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-12-33

《選考対象》

◆フィルム部門: A カテゴリー (テレビ CM、地域テレビ CM)

2015年7月1日～2016年6月30日までの間に一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送された CM。

◆フィルム部門: B カテゴリー (Online Film)

2015年7月1日から2016年6月30日までの間に、Web 上で公開されている映像広告。初公開日は問わない。

◆ラジオ CM 部門 (ラジオ CM、地域ラジオ CM)

2015年7月1日～2016年6月30日までの間に一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送された CM。

◆マーケティング・エフェクティブネス部門

2015年7月以降も継続している企画(キャンペーン)であること。規模には関係なく見事なマーケティング戦略と、効果的なクリエイティブによって、大きな市場的成果をあげた、統合キャンペーン。以下のいずれか一つ以上の施策をおこなっていること。

- ・2015年7月1日から2016年6月30日の間に、一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局においてテレビ CM またはラジオ CM が放送されたキャンペーン施策。
- ・2015年7月1日～2016年6月30日の間に、映像コンテンツ、サウンドコンテンツを Web 等で展開したキャンペーン施策。



◆インタラクティブ部門

2015年7月1日～2016年6月30日の間に掲載されたインターネット広告・モバイル広告、同期間にランチもしくはリニューアルした企業・団体によるウェブサイト・モバイルサイト、同期間に公開されたウェブ・モバイル・アプリケーション、同期間に実施されたリアルイベントなど、すべてのインタラクティブ広告・広告的取り組みなど。

《各部門トピックス》

◆フィルム部門

よりエントリーしやすいよう、Bカテゴリーのエントリー料金を見直しました。

◆ラジオ CM 部門

従来の賞に加え、今年も「アンダー29」の贈賞を行います。

肩書きに関係なく、代表制作者が「2016年7月1日のエントリー締切当日に、29歳以下であること」が条件です。

◆マーケティング・エフェクティブネス部門

テレビCM、ラジオCMのオンエアだけでなく、映像コンテンツ、サウンドコンテンツをWeb等で展開したキャンペーン施策も応募できるようになりました。

◆インタラクティブ部門

全部で14のサブカテゴリーを新設。

総務大臣賞／ACCグランプリ、ACCゴールドなど従来の賞に加え、各サブカテゴリーごとに贈賞します。（一定水準に満たない場合は、該当なしとする場合があります。）

※サブカテゴリーリストは下記URLよりご確認ください。

<http://www.acc-cm.or.jp/festival/2016fes/apply/interactive.html#subcategory>

《各部門 審査委員長および審査委員》（敬称略）

◆フィルム部門

審査委員長 古川 裕也（電通）

メッセージはこちら <http://www.acc-cm.or.jp/festival/2016fes/apply/film.html>

審査委員

佐々木 宏（シンガタ）

佐藤 カズー（TBWA\HAKUHODO）

澤本 嘉光（電通）

塩崎 秀彦（TOKI／博報堂フェロー）

菅野 薫（電通）

高崎 卓馬（電通）

多田 琢（TUGBOAT）

土屋 敏男（日本テレビ放送網）

都築 徹（電通中部）

東畑 幸多（電通）

西田 淳（ドリル）

蛭川 実花（写真家・映画監督）

福里 真一（ワンスカイ）

山崎 隆明（ワトソン・クリック）

村田 俊平（電通九州／2015年小田桐昭賞受賞者）



◆ラジオCM 部門

審査委員長 澤本 嘉光 (電通)

メッセージはこちら <http://www.acc-cm.or.jp/festival/2016fes/apply/radio.html>

審査委員

今浪 祐介 (オフィスクレッシェンド/構成作家)
井村 光明 (博報堂/クリエイティブディレクター)
大谷 ノブ彦 (ダイノジ/お笑いタレント)
権八 成裕 (シンガタ/クリエイティブディレクター)
嶋 浩一郎 (博報堂ケトル/編集者・クリエイティブディレクター
代表取締役社長・共同 CEO)
遠山 大輔 (グランジ/お笑いタレント)
中川 英明 (電通/コピーライター/CM プランナー)
中山 佐知子 (ランダムハウス/コピーライター&ディレクター)
西田 善太 (マガジンハウス/BRUTUS 編集長)
橋本 奈々未 (乃木坂 46)
福本 ゆみ (福本ゆみ事務所/コピーライター・クリエイティブディレクター)
三井 明子 (アサツー ディ・ケイ/コピーライター/クリエイティブディレクター)
宮野 潤一 (TOKYO FM/編成制作部)

◆マーケティング・エフェクティブネス部門

審査委員長 土橋 代幸 (トヨタマーケティングジャパン)

メッセージはこちら <http://www.acc-cm.or.jp/festival/2016fes/apply/me.html>

審査委員

幼方 聡子 (東レ)
小和田 みどり (ライオン)
矢野 絹子 (KDDI)
山口 有希子 (日本アイ・ビー・エム)
大越 いづみ (電通)
大高 香世 (博報堂)
木下 一郎 (電通)
清水 健 (アサツー ディ・ケイ)
能登 健裕 (東急エージェンシー)
藤井 久 (博報堂)

◆インタラクティブ部門

審査委員長 須田 和博 (博報堂)

メッセージはこちら <http://www.acc-cm.or.jp/festival/2016fes/apply/interactive.html>

審査委員

大八木 翼 (SIX)
落合 陽一 (筑波大学)
倉又 俊夫 (NHK)
齋藤 精一 (Rhizomatiks)
Saqoosha (dot by dot)
白井 明子 (ローソン)



白土 謙二（思想家／元・電通執行役員）
菅野 薫（電通）
田中 耕一郎（Projector）
刀田 聡子（宣伝会議）
朴 正義（バスキュール）
横澤 大輔（ドワンゴ）

以上

【ACCとは】

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟(All Japan Radio&Television Commercial Confederation)は、CM関係事業者の共通認識の醸成と表現の質的向上を図りながら、視聴者の視点に立ったCMのあるべき姿を追求し、社会的・文化的貢献を目指して活動しております。

ACCは、よいCMの制作と放送の実現に寄与することを目的に設立された公益法人で、広告と放送に関係する広告主・広告会社・制作会社・放送会社の4業種のメンバーで構成され、業種の枠を超えて視聴者の視点、グローバルな視野からCMの発展を推進しています。

【「ACC CM FESTIVAL」とは】

1961年よりテレビ、ラジオCMを対象にした広告賞として、「ACC CM FESTIVAL」を開催しています。2010年には、マーケティング・エフェクティブネス部門、2014年からはインタラクティブ部門も創設されました。

名実ともに、日本最大級の広告賞として広く認知されており、ACCグランプリ(総務大臣賞)は広告関係者の大きな目標となっています。